

# ありまふじ里山だより

## Vol.23

『ありまふじ里山だより』では、棚田里山エリアの自然の様子や里山保全に向けた取り組みについてご紹介します。Vol.23は摂丹日本ミツバチの会の活動の様子と棚田里山エリアで見られる花についてお届けします。



### 日本ミツバチの巣箱設置！

日本ミツバチの生息調査として、棚田里山エリアに巣箱が設置されました。

春、新しい女王蜂が生まれると、その母親の女王蜂は群れの半分を連れて、新しい巣を求めて飛び出していきます。これを分蜂といいます。この分蜂群れが巣箱に入居すれば、このエリアにも日本ミツバチが生息していることが確認されます。

ミツバチはとてもデリケートな生き物なので、無事に入ってくれるかどうか。今後の結果が楽しみです！



### 花の形も様々

かやぶき民家ではシデコブシがきれいな花を咲かせています。白っぽいものから鮮やかなピンクまで。里山ではアセビが鐘形の白い花を咲かせています。

一方、棚田では法面のササ刈りをしていたところ、ササに隠れてヒメカンアオイがひっそりと1株生えていました。よく見ると、花もあります。しかし、お世辞にもきれいな花とは言えない、地味で目立たない花です。

花の形は様々ですが、春はさまざまな花が見れて、散歩するだけでも楽しくなります。

